

県連ニュース

2020年 3月号 NO-512



『ご来光、雷鳥と（唐松岳山頂荘）』

滋賀県勤労者山岳連盟

2020年 3月号 目次

寄稿	リレーエッセイ 深南部フリーク	2
案内	第44回定期総会	3
	個人山行「ステップアップ比良」	4
報告	代表者会議議事録	5
	第12回理事会報告	7
	第13回理事会報告	9
	近畿ブロック自然保護委員会報告	10
	雪山基礎講座 2020 (1)	12
ぐうたら会長のつぶやき	13	
予 定 表	14	

表紙の写真：『ご来光、雷鳥と』（唐松岳頂上山荘）

撮影者 滋賀山友会 新田康昭 2019. 8. 13

深南部フリーク

彷徨倶楽部 秋田 誠

深南部 南アルプスの光岳より南、黒法師岳より北で、遠山川と大井川に挟まれた広大な山域を深南部と称するようです。私は、前々から光岳以南の山々に興味を抱いていました。そう、深南部フリークなんです。しかし、大津から深南部は遠く交通が不便、よって登山には日数が必要となれば、普通のサラリーマンは容易に立ち入れません。深南部は机上登山の対象にしかすぎませんでした。でも、人生って不思議ですね。親の介護のため、深南部のある静岡県の隣り、山梨県に転居することになったんです。思いがけず身近になって、私の深南部通いが始まりました。

深南部の魅力 何と言っても山の深さです。核心部の山、例えば合地山(がっちさん、2,104m)や千頭山(せんずやま、1,946m)を登るには山越えして取り付かねばなりません。大変な労力です。そんな山の深さはこの山域の大きな魅力です。3,000m峰もなければ派手な岩場もない、稜線近くまで濃い樹林に覆われた極めて地味な山域。登山道はないか、または不明瞭。休日でも登山者に合うことはめったにありません。深南部では人を頼ることは出来ず、地形を観察し地図を読む力が求められます。避難小屋はないのでテント持参は当たり前、藪漕ぎも日常茶飯事です。けれども、このないない尽くしが深南部の魅力です。いわゆる「山ぢから」を試すことのできる山域なのです。

蛭だらけ 梅雨時から初秋にかけて、深南部の殆どの山は蛭だらけです。地味な上に蛭、となれば登山者は敬遠します。それがまた、この山域が静寂を保つ理由なのかもしれません。それなりの対処をすれば蛭の害は避けられますし、晩秋から冬の時季を選べば蛭たちは地中に潜って悪さをしません。深南部の冬は天候が安定し、温暖で雪の量も多くないのです。

絶滅危惧種の集い ヤマレコで検索すると、深南部に通う私の同類が少数存在します。絶滅危惧種です。近い将来、畑薙湖畔の赤石温泉辺りで絶滅危惧種の懇親会を交流会をもちたいと思っています。



深南部・中ノ尾根山

第44回 定期総会

日時：2020年 3月8日（日）

13:30~17:00 13:00 開場

会場：滋賀県立スポーツ会館2階（昨年と同じ会場です）

滋賀県大津市御陵町4-1

TEL：(077)-522-0301

★JR 大津京駅 徒歩5分

★京阪大津京駅 徒歩2分

★当日は毎日マラソンです。

会場の駐車場は、無理と思います。



《案内》

個人山行「ステップアップ比良」の案内

滋賀労山会員の皆様へ

県連では毎年ハイキングセミナーが開催おされています。

その次のステップとして個人山行ですがステップアップ比良を企画しました。一年を通して新しい比良を見つけてみませんか？

地図読みやルートファインディング・歩き方など経験しながら、より高みを目指しましょう！

月一回、年12回予定しています。(台風以外、雨でも決行します)

計画予定

2020年

4/18(土)中井新道～ヤケ小山	5/23(土)小女郎谷北尾根
6/13(土)ホツケ山南東尾根	7/18(土)荒川峠 P865 尾根
8/22(土)釣瓶岳(栗木田谷)	9/12(土)鵜川境界尾根
10/17(土)シャクシコバノ頭(坊村)	11/14(土)ホツケ谷周回
12/12(土)ヤケオ山 P761 東尾根	

2021年 1/16(土)小女郎谷東尾根～ホツケ山東尾根

2/13(土)荒川峠～堂満岳～深谷 3/27(土)深谷～荒川峠周回

申し込みは各山行の14日前までにメールでお願いします。

問い合わせも toyoda@eos.ocn.ne.jp までメールでお願いします。

※住所・氏名・生年月日・連絡先(携帯番号)基金口数・所属会名

※各山行は公共交通機関で行きます。(参加費は頂きません)

※参加受付は労山基金3口以上(出来るだけ5口以上)加入の方に限ります。

(滋賀労山会員ならどなたでも参加できます)

※一部の山行のみの申し込みもOKです。

※山行募集案内は、この回のみで各回の募集案内はしません。

申し込み多数の場合お断りする事もあります。

滋賀山友会 豊田 永浩

■日時 2月13日(木) 19:00 - 21:00

■出席 [代表者] (代表者会定数 18名)

豊田(山友会)、西村(雪稜会)、北村(岳友会)、谷内(彷徨)

■出席 [理事] 友永、宮内、池田、中島、高玉、今村、古川、田中、渡壁、飯野、濱

■欠席 (委任状) 柴田(ちごゆり)、山本(シャクナゲ)、(連絡あり) 藤関

■記録 濱

■議題

1. 2019 年度活動報告・決算案について (報告)

2. 2020 年度活動計画案・予算案 (協議)

3. その他

・総会に関連して依頼 (2/20 に)

(1) 総会役員選出

議長: ちごゆり/岳友 資格審査: 彷徨 選挙管理: 山友/雪稜

(2019 年 3 月総会、議長: 山友/雪稜 資格審査: ちごゆり 選挙管理

岳友/彷徨 総会役員は、岳友/彷徨/山友/雪稜/ちごゆりの順で輪番とする。)

代議員選出 (定数 22 名)

山友 (5 名) 雪稜 (4 名) 岳友 (5 名) 彷徨 (3 名) ちごゆり (3 名)

シャクナゲ (2 名)

(2) 2020 年度理事候補選出 [() 内は希望数]

山友会 5 (6)、岳友会 3 (4)、雪稜会 3 (4)、彷徨倶楽部 1 (2)

シャクナゲ 0 (1)、ちごゆり 0 (1) 総会に関連して依頼 (2/20 までに)

(3) 救助隊について

(4) 印刷物に関して

県連ニュース PDF 配信

議案書・資料 PDF 配信 出席代議員には、印刷して当日配布

全国連盟からの労山ニュース

■議事内容

➤比良縦走について

・参加者ゼロの会があった。理由は何か?

→体力的にきつい会員が多い。興味のある人がなかった等。

・接近した日程で全山縦走を企画した会があったのはなぜか?

→全山縦走をやりたかった会員がいたから。

- ・タイムトライアルが無くなった。
- ・ルート変更の検討は？
- ・参加者が少なくなってきた。ニーズが変わってきている。
- ・年々高齢化してきている。ショートコースにしたが、物足りない人がいる。
開始された元々のきっかけは冬山登山に向けた体力づくりだった。
今は冬山に行く人も減少している。
- 放射線測定事業について
 - ・参加希望者もいると思う。県連ニュース等で呼びかけてはどうか？
→来年度はニュース等で広報する。
- 救助隊について
 - ・活動していない。何が必要なのか等、見直したほうが良い。
 - ・現場で役に立たない。
 - ・(救助隊が)あることは心強い。各会1名の窓口を決めておくべき。
 - ・名簿の整理ができていない。ここ数年メンバーが周知されていない。
 - ・訓練が必要ではないか。
 - ・検討会をもったほうがよい。
- 山岳交流会について
 - ・山岳交流会とは何か？
→各会の持ち味を活かして実施。山頂で交流会実施。各会の得意な分野を活かす。
 - ・イメージが湧かない。
 - ・交流を図るなら登山祭典があるのではないか。
 - ・秋のベストシーズンに2回も県連行事を入れるのはいかがなものか。
 - ・比良縦走が無くなった代わりに行事と考えなくてもよいのではないか。
 - ・登山祭典を充実させたらどうか。
 - ・各会から代表を出し、検討してはどうか。
 - ・1回くらい実施しても本当に交流になるのか。ハイキングセミナーとか目的があつてこそ交流になるのではないのか。毎月1回くらい実施するなら話は別だが。
 - ・9月を交流月間としてはどうか。各会が1企画ずつ計画する。県連ニュース7月号に掲載する。
 - ・改めて企画するのではなく、それぞれの例会をオープンにする。
 - ・担当は組織部に変更する。
- 予算について (@460円→@400円に値下げする案に関して)
 - ・予算はカツカツ(とする方)が良い。

- ・不足時は参加費等で別途徴収すればよいのではないか。
- ・予算が余っているから新規事業をするという発想は間違いではないか。
- ・下げることに反対する人はいない。
- ・@400 円にすることで合意された。

➤ 県連について

- ・会長、理事および理事の負担を減らす必要がある。
- ・理事会の開催回数を年数回程度に減らしてはどうか。
- ・連絡調整はメールで行う。
- ・協議については、理事全員協議ではなく、各部において協議検討する形態を取ってはどうか。
- ・事業をしなくては何と、あまり思わなくてもよいのではないか。
- ・今まで実施してきた事業は、続けて行かなければと、考えなくてもいいのではないか。
- ・以前は県連加入により保険加入できるメリットもあったが、現在は他の選択肢も増えてきている。他府県においてはほとんど他保険に加入しているところもある。
- ・何かあったら助けてくれる、町内会的な存在と思っている。
- ・理事の数を減らすべきではないか。
- ・各会を代表する人を県連理事としてほしい。
- ・県連は実施機関であり、決定機関ではない。
- ・会費徴収だけして、あまり事業をしていないのではないか。
- ・各会単独でできないことをやるのが県連ではないのか。
- ・冬山講座、読図講習会等、各会独自では困難なものを開催してもらっているの
でありがたい。
- ・ファーストエイド、AED、捻挫時の対応方法等の講習会開催してほしい。

《報告》

2019 年度 第 12 回理事会

1 月 30 日（木）19：00 - 20：30 司会 宮内 記録 宮内

出席：友永、宮内、中島、池田、高玉、古川、渡壁、今村、田中、

（理事会定数 12 名）

欠席：（連絡）飯野、濱、藤関、

議 題：

1. 3/8 受付9時30分～ 10時～11時30分 (理事 9時集合)

タイトル「山登りを始めたい人の講習会」

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1.山靴と歩き方 | 比良雪 秋本邦和 さん |
| 2.ザックの選び方とパッキング | 山友会 友永芳和 さん |
| 3.服装について 持ち物等 | 岳友会 北村昌文 さん |
| 4.ペース配分と休憩 | 山友会 金原敏幸 さん |

大津市広報(2/15号予定) リビング(2/8発行号) 民報()掲載予定

シヤクナゲ、ちごゆり ちらしを機関紙に同封(1/20済み)

県連・山友会 HPアップ済み 各会にもHPアップ依頼済み

・準備 会場に設置する講習会名称(古川理事作成)

ホワイトボードにテーマと講師名を表記する

司会・今村理事

進行方法は、最後に質問を受け付け、講師陣が回答する。

時間が許す限り、個別質問に対応する。

講師4名に謝礼3000円+交通費+弁当 理事の弁当(宮内担当)

2. 総会議案書 検討

・1/16 2019年度活動報告

・1/30 2020年度活動計画案

教育遭対部(今村)、自然保護部(中島)、機関紙部(古川)、組織部(濱)

財政部(田中)、救助隊(友永)、CSS(秋田)、SKINET(濱)

・総会までの日程

1/16(木)第11回理事会 :議案検討1(今年度の事業報告)

1/30(木)第12回理事会 :議案検討2 決算案検討(次年度の計画案と会計報告)

2/11(祝日) 会計監査 県連事務所 10時～

2/13(木) 代表者会議/第13回理事会 議案検討、決算・予算案検討

2/20(木) 14時30分～議案書印刷、製本、郵送(機関紙印刷発送日にあわせた)

3/5(木) 第14回理事会:総会準備 理事会前 16時から資料集印刷

当日会場渡し

3/8(日) 第44回定期総会 (滋賀県スポーツ会館)

3. 組織：会員数動向 (前年度末比 205/206 %)

山友 72/72 ,岳友 50/51 ,雪稜 47/48 ,彷徨 14/14 ,ちごゆり,17/17 ,シヤクナゲ 5/5

合計 2020.1E/2019.12 205/206 99.5%

(男・女) 山友(36+36) 岳友(27+23) 雪稜(28+19) 彷徨(7+7) ちごゆり(7+10) シヤクナゲ(3+2)

- ・教育・遭対 次年度ハイキングセミナーは、会員外を対象に
- ・機関紙部 3月号 2/15 締め切り 2/20 印刷・発行
エッセイ(彷徨) 表紙写真(山友)

・自然保護部

・救助隊 2/5 近プロ搬出全体打合せ 京都府連事務所 19時30分～

・財政 ・SKI・NET ・CSS 特になし

4. その他

- ・第34回労山 総会 2020年2/15～16 東京 (代議員 友永会長出席予定)

次回 第代表者会議・第13回理事会 2020年2月13日(木) 19:00～

2019年度第13回理事会

2月13日(木) 21:00 - 21:30

司会・宮内 記録・濱

出席：友永、宮内、池田、中島、高玉、今村、古川、田中、渡壁、飯野、濱
(理事会定数12名)

欠席：(連絡あり) 藤関

議題：

1. 総会準備 各会代表者に氏名報告を依頼(期限2/20)

- ・総会役員選出

議長：ちごゆり/岳友 資格審査：彷徨 資格審査：山友/雪稜

- ・代議員選出(定数22名)

山友(5名) 雪稜(4名) 岳友(5名) 彷徨(3名) ちごゆり(3名) シャクナゲ(2名)

- ・2020年度理事候補選出〔()内は希望数〕

山友会5(6)、岳友会3(4)、雪稜会3(4)、彷徨倶楽部2(3)

シャクナゲ0(1)、ちごゆり0(1)

- ・総会役員分担表(別紙)

- ・総会までの日程 時間の都合のつく理事は協力お願いします。

2/20 議案書印刷 木曜日 14:30～

県連ニュース印刷の後 県連ニュースと同封発送

3/5 資料集印刷 16:00～18:00 第14回理事会の前に 5名で2.5H

3/8 午前9時～ 「山登りを始めたい人の講習会」 2/15現在 17名

午後 1 時 30 分～ 定期総会

午後 5 時 30 分～ お疲れさん会（ ）大津京駅近くで

2. 各部報告

・組織部 前月末の会員数 (2020.1E/2019.12) 203/205 99%

山友会 72/72 岳友会 49/50 雪稜会 47/47 彷徨 13/14 ちごゆり 17/17

シャクナゲ 5/5

*前年度末比 203/207

・自然保護部 なし

・教育・遭難対策部 なし

・機関誌部 3月号 原稿 2/15 締め切り 2/20 印刷発送 13:30～
原稿依頼内容の確認

4月号 原稿 3/15 締め切り 3/ 印刷発送

・財政部 交通費請求書について：出席理事に用紙配布

・CSS なし

・SKI-NET なし

3. その他 特になし

次回第 14 回理事会 3 / 5 19:00～

近畿ブロック自然保護委員会報告

自然保護部 中島英雄

日時：1月10日(金) 10時～12時

司会：大阪(澤村)

1. 各府県連報告(トピックス)

京都：1/6(月)第10回自然保護委員会まとめより(平尾)

北陸新幹線京都延伸問題について環境影響評価方法書の縦覧及び説明会があった。大阪・澤村さんでインターネット検索して予定路線を映してもらおうと、福井県から京都府に入り丹波高原はさけて京都駅へ向かうが、範囲を広く設定していて何所を通るかは未定。大深度トンネルが殆どです。意見書の提出起源は1/8(水)で提出しました。その他第55期活動方針(案)、第56回クリーンハイクにむけた準備を開始。

奈良：第51回クリーンハイク報告書作成した。(高橋)

開催要項、参加要項、自治体及び後援団体からの支援、協力内容、奈良県勤労者山岳連盟のアピール、自然保護委員会「みずなら」報告、予算・決算書中間報告、参加者と回収ゴミの集計、参加各会の報告が載せています。由良さんも参加。

兵庫：2020年1月の『自然保護委員会』より報告。(中原)

2019年12/1 クリーンハイク回収ゴミは缶 21Kg、ビン 16 Kg、燃えるゴミ 54 Kg、粗ゴミ 14 Kg、総量 105 Kg でした。

3/8 (日) 六甲全山縦走の体制、準備等の報告ではトイレ問題がある。東コースでトイレブースを設置するか等話し合っている。私たちとしては『持ち帰り』を推進するが、実行は難しそうです。

大阪：2020年 1月9日の『自然保護委員会 (レジュメ)』より (澤村)

- 1・憲章の実践鳥獣・らいちょう目撃16件 倒木対策6件 クリーンハイクを0件
- 2・リニア中央新幹線建設による南アルプスの自然を壊さない署名訴え等
- 3・クリーンハイクの準備を始めました。

2020年度方針 *登山しながら自然保護憲章の実践を呼びかけます。

*6月7日にクリーンハイクを実施します。 以下省略

滋賀：3/8 (日) 県連総会議案 2019年報告と2020年度計画の概要を報告 (中島)
池田さんも参加。

和歌山：欠席

2. 近畿ブロック自然保護交流ハイキング

日 程 5月30日 (土) 6月が天気は安定ではという提案で、5/30に決定。

場 所 友が島 南国の別天地でチョッピリごみ回収 詳細は次回で決めます。

3. 全国自然保護集会 11/14~15 場所未定
- 全国自然保護講座 7/11~12 場所未定
- リニア署名数 14,310筆 (未着の道県連が多い)

次回の自然保護委員会は4月10日 (金) 10時から 大阪労山事務所にて開催です。



雪山基礎講座 2020 (1)

--- 八ヶ岳・杣添尾根～横岳 ---

秋田 誠／彷徨倶楽部

日 程 2020年2月1日(土)～2日(日)

天 気 両日とも晴れ

講 師 秋田(彷徨倶楽部)、平山(湖南岳友会)

受講生 川口、山岡(滋賀山友会)、高岡(湖南岳友会)、其阿弥、玉田(比良雪稜会)
乾、信森(彷徨倶楽部)

行 程 1/31 夜、車2台に分乗して滋賀発。JR中央本線青柳駅で関東から参加の秋田と合流し仮眠。

2/1 杣添(そまぞえ)尾根取付きにBC設営後、横岳を目指したが標高2,750m付近で時間切れのため下山。

BC(標高1,870m)9:30---(杣添尾根)---標高2,750m15:00---BC16:30

2/2 BC付近でフロントポインティング、シングルアックスでの登高、固定ロープ通過(カラビナバッチマン、ラビットノット)、懸垂下降(HMSカラビナ+ムンターヒッチ、肩絡み、下降器具)の訓練を実施。

雪山基礎講座2020は八ヶ岳東面の横岳杣添尾根でスタートした。今後、5月の連休に予定している北アルプス・鹿島槍ヶ岳まで毎月1回の実技講座を通じて、雪山の基礎的な知識と技術を学ぶ。今回は今後の講座に備えて、アイゼン歩行を含む雪上歩行、ピッケルを積極的に使う登高および雪山に必要な懸垂下降などの訓練を2日間に渡って行った。杣添尾根は比高約900mで危険個所がなく、南八ヶ岳の主稜線に直接立てるロケーションの良さがあり、下部樹林帯はツボ足歩行、上部雪稜はアイゼン歩行の訓練に適している。取付きでテントが張れることやアクセスの悪い東面のため、週末でも登山者が少なく静かな環境なのも訓練山行には利点である。

初日はBC設営後の遅い出発だったことと、前夜の睡眠不足も影響してか体調不良者が出たため、登高のペースがあがらず、横岳山頂を目前に標高2,750m付近で時間切れ下山となった。しかし、赤岳をはじめ八ヶ岳東面の雪稜を一望しながらの杣添尾根の登下降は雪上歩行の良い訓練に



杣添尾根の登高



ムンターヒッチで懸垂下降

なった。

2日目は、BC付近の堰堤に懸かる氷瀑で、フロントポインティングの感覚を掴む練習を行い、その他シングルアックスで登る練習、固定ロープ通過(カラビナバッチマン、ラビットノット)、雪山に必要な懸垂下降(HMSカラビナ+ムンターヒッチ、肩絡み、下降器具)の訓練を行った。登山技術は反復練習し、実際に使うことで身体の一部となっていく。訓練で学んだ内容を今後の山行に生かしてもらいたい。

ぐうたら会長のつぶやき

4月5日の日曜日に明日都浜大津で近畿ブロック搬出講習会が行われます。滋賀県連が担当となっています。近い場所ですし、ハイキング中の事故の対応を学べます。1度では身に付きませんが、こんな方法もあると知っている事はとても有意義です。参加費は県連で負担していただけるので、たくさんの方に参加していただきたいと思います。また、受付などもありますので、こちらにも当日お手伝いいただければと思います。よろしくお願いします。

比良の沢、第3弾です。

No393 85-5 武奈ヶ岳(三舞谷左俣) 1985年6月30日 雨

(参加者)友永、山崎

(コースタイム) 梅の木 9:00—9:15 最後の堰堤 9:40—9:55 二俣—10:20 大滝下 10:30—11:20 奥の二俣—11:30 水切—11:40 縦走路 12:00—12:15 武奈ヶ岳 12:40—13:00 中峠—13:35 金糞峠—14:00 堂満岳—15:00 登山口—15:35 比良駅

(報告)

小雨の中の出発。京阪三条で朝食をすませバスに乗る。下京勤労者山岳会のメンバーが15周年のピラを配っていた。彼らは沢登りの実技の偵察で奥の深谷へ行くため坊村で下車した。梅の木までは結局二人となった。雨の中傘を差して三舞谷右岸の踏み跡を辿る。河原にテントが1張あった。最後の堰堤の上で装備を着けて入渓。水量が多く歩き難かった。小滝を3つほど越して15分で二俣に着く。少し行くと小ゴルジュ。1本巻いただけで他は直登した。15mのナメ滝を過ぎると35mの大滝下に出た。左岸より高巻く。一ヶ所微妙な所があった。右手に20mの岩塔を見て少し行くと15mの滝。ここも左岸を巻いた。上は右側がハング気味の壁で中に10m、6m、7mの滝と続く。チョックストーンのある6mの滝に少し手こずった。後はどうと言う事も無く小滝をどんどん登って行った。奥の二俣を右にとって少し行くと先行パーティの姿があった。二俣より15分で水が切れ藪漕ぎとなる。踏み跡はしっかりしていて楽だった。11時40分縦走路に出た。ガスと風でゆっくり出来ず。装備を外して武奈ヶ岳へ向う。山頂で昼食をとり、コヤマノ岳より中峠経由で金糞峠に出て、雨でぬかるんだ道を足の早い山崎くんに必死の思いでついて行き堂満岳を越えた。ガスと小雨の中をノタノホリを見て下り、比良駅前ビールを飲んで終わった。

※30年以上前の記録など興味ないと思いますが、寛容な心でしばらくお付き合いください。

3月に白内障の手術を受ける事になりましたので、残念ですが3月、4月は計画を立てないことにします。術後の様子をみたいと思います。

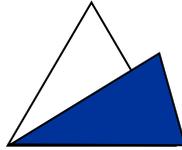
行事予定

▼	日▼	県連・全国行事	▼	▼	日▼	各会の行事	▼	会友▼
	1	奥美濃大日岳(雪崩講習会スキーネット)			1	虎子山		雪稜
					1	銀杏峰と部子山周回		岳友
	5	理事会			1	須磨アルプス 高御位山		岳友
					7	十二坊		ちご
	8	山登りを始める人の講習会(午前)			15	長谷寺～室生		山友
	8	第44回定期総会 (午後)			14-24	オーストラリア(コジオスコ山)		彷徨
3					14-15	八ヶ岳連峰 赤岳		岳友
					15	和泉山地 生駒山		岳友
					15	紀見峠～金剛山		雪稜
	19-22	両白山地・笈ヶ岳 (雪山基礎講座2020/CSS)			22	オールラウンド例会「大谷山」		山友
	28-29	妙高ゲレンデスキー(スキーネット)			25	ミーティング		彷徨
					29	佐和山～彦根城ハイク		ちご
					29	総会、ミーティング		岳友
					4	音羽山(公開山行)		ちご
	5	近畿ブロック搬出技術講習会			11	花見山行 沖島		彷徨
					12	高島トレイル®		岳友
					12	定期総会		山友
4					16	ミーティング		彷徨
					18	ミーティング		岳友
					19	金剛山		岳友
					18-19	加賀大日岳～越前大日岳		彷徨
	17-19	北アルプス・遠見尾根～白岳 (雪山基礎講座2020/CSS)			19	琵琶湖1周part①		ちご
	25-30	八甲田山(スキーネット)			19	カナ山		雪稜
					26	野点山行 八が峰		雪稜
					29	上谷山		雪稜
	3-6	北アルプス・鹿島槍ヶ岳 (雪山基礎講座2020/CSS)			2	天ヶ岳(大原)		ちご
					3	万野・高室山		雪稜
	9	金毘羅岩トレ(CSS)						
	16	しし岩岩トレ(CSS)			9～10	比叡～比良縦走		雪稜
5								
					14	ミーティング		彷徨
					24～25	琵琶湖一周part②		ちご

会名略号 山友:滋賀山友会、岳友:湖南岳友会、雪稜:比良雪稜会、ちご:ちごゆり山歩会

シャク:シャクナゲ溯行クラブ、彷徨:彷徨倶楽部

スキーネット:山スキーネット滋賀、CSS:クライミング研究会滋賀



2020年4月号の原稿は、3月15日〆切です。
原稿の投稿先は tfurukawa@dj8.so-net.ne.jp まで、用紙サイズは **B5**、
フォントは本文 **10.5~11**、タイトル **12~14**、余白は上下左右 **19mm**とし、
使用する写真は **200KB 以内**としてください。
皆様のご協力をお願いいたします。

「県連ニュース3月号」 No.512

発行日:2020年2月20日

滋賀県勤労者山岳連盟

TEL 080-4971-6231

〒520-0836

Email shigarosan@gmail.com

大津市杉浦町 9-30

ゆうちょ銀行（店名 418）

<http://shigarosan.jimdo.com/>

普通 0239956

発行責任者 宮内 眞子

編集委員 高玉 敬子 古川 哲郎 渡壁 由美子